

# 出張講義

## サウンド

## 言葉に頼らずに意図はどこまで伝わるか？

担当教員:橋田 光代 准教授

「コミュニケーション能力は大事」とよく言われます。言葉できちんと伝えないと、自分の思いは伝わらない、と。子供から大人まで、一体どれだけしつこく諭されてきたでしょう。しかし、言葉を上手に使うのは大人でも本当に難しいです。一度苦手意識を持ってしまうと、どれだけ訓練を積んだとしても一生レベルのコンプレックスになります。ところで会話は「音」を使ったコミュニケーションです。発声の強弱や緩急によってその印象を変えることができます。悲しい出来事を人に話すときは、気持ちが変わるように弱くゆっくりとした口調で、誰かを怒るときには音の緩急が激しくなり、一番訴えたい部分に強いアクセントを置くでしょう。聞く側も、相手の声色を聞いて「ああ、この人は今悲しんでいるな」と感じることができます。つまり音が与える印象に対して、発信者と受信者が同じルールを共有していれば、「言葉(文字)」が不十分でもコミュニケーションは取れるのです。この授業では、使う言葉は最小限、「音声」と「表情」だけでできる意図の伝達の世界を実体験してもらいます。

- 受講人数の目安:5~20名くらい(応相談)
- 所要時間の目安:40~60分
- 高校でご準備いただきたいもの:プロジェクター